

1.事業説明シート

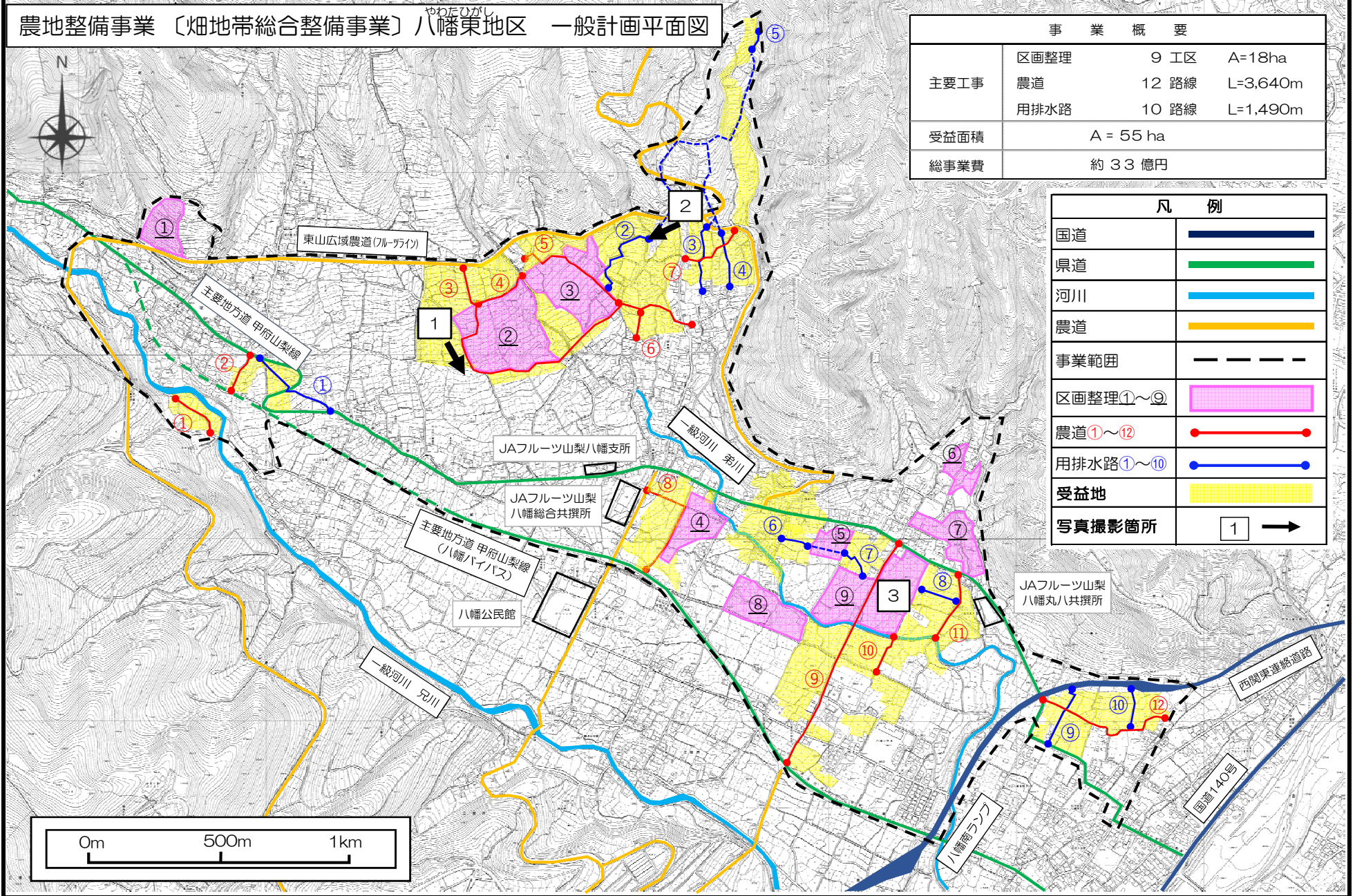
事業名	農地整備事業〔畑地帯総合整備事業(国補)〕	事業箇所	山梨市北～山梨市堀内	地区名	やわたひがし 八幡東	事業主体	山梨県																											
(1) 事業の概要		(2) 整備内容																																
①課題・背景		<p>①整備内容 区画整理 A=18ha、農道 L=3,640m、用排水路 L=1,490m</p> <p>②着手年度 令和6年度 ③完成見込年度 令和14年度</p> <p>④総事業費 約3,300百万円 (国費1,650百万円(5.0/10)、県費825百万円(2.5/10)、市費等825百万円(2.5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1"> <tr><td>令和6年度</td><td>測量・設計・換地</td><td>50 百万円</td></tr> <tr><td>令和7年度</td><td>区画整理、農道</td><td>350 百万円</td></tr> <tr><td>令和8年度</td><td>区画整理、農道、用排水路</td><td>450 百万円</td></tr> <tr><td>令和9年度</td><td>区画整理、農道、用排水路</td><td>500 百万円</td></tr> <tr><td>令和10年度</td><td>区画整理、農道、用排水路</td><td>550 百万円</td></tr> <tr><td>令和11年度</td><td>区画整理、農道、用排水路</td><td>500 百万円</td></tr> <tr><td>令和12年度</td><td>区画整理、農道、用排水路</td><td>450 百万円</td></tr> <tr><td>令和13年度</td><td>区画整理、農道、用排水路</td><td>350 百万円</td></tr> <tr><td>令和14年度</td><td>区画整理・換地</td><td>100 百万円</td></tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 該当なし</p>						令和6年度	測量・設計・換地	50 百万円	令和7年度	区画整理、農道	350 百万円	令和8年度	区画整理、農道、用排水路	450 百万円	令和9年度	区画整理、農道、用排水路	500 百万円	令和10年度	区画整理、農道、用排水路	550 百万円	令和11年度	区画整理、農道、用排水路	500 百万円	令和12年度	区画整理、農道、用排水路	450 百万円	令和13年度	区画整理、農道、用排水路	350 百万円	令和14年度	区画整理・換地	100 百万円
令和6年度	測量・設計・換地	50 百万円																																
令和7年度	区画整理、農道	350 百万円																																
令和8年度	区画整理、農道、用排水路	450 百万円																																
令和9年度	区画整理、農道、用排水路	500 百万円																																
令和10年度	区画整理、農道、用排水路	550 百万円																																
令和11年度	区画整理、農道、用排水路	500 百万円																																
令和12年度	区画整理、農道、用排水路	450 百万円																																
令和13年度	区画整理、農道、用排水路	350 百万円																																
令和14年度	区画整理・換地	100 百万円																																
<p>本地区は山梨市の西部に位置し、ぶどう、ももを中心に栽培を営んでいる県内でも有数な果樹地帯である。地区内では、シャインマスカットを始め、収益性の高い、高品質な農作物が生産されている。</p> <p>しかしながら、地区内の農業基盤の整備水準は低く、幅員が狭い農道や小区画で不整形な農地が多いことから、作業効率の低下を招いている。</p> <p>一方、地区内は東山広域農道(フルーツライン)に隣接し、共選場への出荷をスムーズに行うことができる地理的条件も備えており、規模拡大を希望する若い担い手や新規就農希望者も増加傾向であることから、本地域の農業を将来的に維持発展させる上では、営農条件の改善と農地の集約化を進めることが重要となっている。</p> <p>このため、総合的な農業生産基盤の整備により、農作業の効率化による生産性の向上と担い手への農地集積を進め、更なる果樹産地の強化に取り組むものである。</p>																																		
②整備目標・効果																																		
<p>□主要目標 ○農業生産力の向上</p> <p>区画整理等の基盤整備の実施により、担い手への農地集積を図るとともに作業効率の向上など地区内の営農条件が改善され、果樹の産地強化が図られる。</p> <p>・面積当たり農業所得増加額 1,892千円/ha ≥ 810千円/ha以上※ (※評価基準値)</p>																																		
<p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上</p> <p>・施設老朽度 使用年数(47年)÷耐用年数(18年)=2.61 ≥ 1.0以上※</p> <p>・排水能力向上率 (計画排水能力) 0.392m<sup>3</sup>/s ÷ (現況排水能力) 0.142m<sup>3</sup>/s =2.76 ≥ 1.0以上※ (※評価基準値)</p>																																		
<p>□副次効果 ○果樹園景観の保全(良好な景観が保全される計画である)</p> <p>○遊休農地の解消(遊休農地を農地として再利用する具体的な計画あり)</p>																																		
③目標達成の方法																																		
<p>担い手への農地集積を進めるとともに作業効率の改善を図るため、区画整理や農道などの整備を総合的に実施する。</p> <p>区画整理 9工区、農道 12路線、用排水路 10路線</p>																																		
		(3) 中・長期計画等の位置付け																																
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「山梨県総合計画」(令和5年10月策定予定)</li> <li>「山梨県社会資本整備重点計画(第4次)」(令和4年9月改定)</li> <li>「やまなし農業基本計画」(令和5年12月策定予定)</li> </ul>																																
		(4) 事業位置図																																
		<p>山梨市 八幡南7丁 八幡東 岩手7丁 一級河川 笛吹川 JR中央本線 東山梨駅 西國東連絡道路 国道140号 主要地方道甲府山梨線 東山広域農道(フルーツライン) 塩ノ山 553 地理院地図(国土地理院)を加工して作成</p>																																

## 2.評価シート

<p><b>(1) 公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）</b> <span style="float:right;">(妥当)・妥当でない</span></p> <p>(理由) 本事業は食料・農業・農村基本法に位置づけられている、農業の持続的発展、食料の安定供給、景観保全や土壌流出防止などの多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきものである。</p>	<p><b>(5) 整備手法の有効性</b> <span style="float:right;">(妥当)・妥当でない</span></p> <p>(理由) 区画整理や農道整備等を進めることで、農地の集積・集約化が図られるとともに、作業効率や営農条件が改善され、今後の果樹産地の強化や担い手への集積を図るための最も適した計画としている。</p>																																													
<p><b>(2) 事業執行主体の妥当性（県が行うべき事業か）</b> <span style="float:right;">(妥当)・妥当でない</span></p> <p>(理由) 本事業は、農業生産基盤を総合的に整備して農作業の効率化や農業経営の安定化を図るものであり「土地改良法施行令」第50条第1項第11号に規定される県が主体となって行うべき事業である。</p>	<p><input type="checkbox"/> 他<b>の整備手法の有無</b> <span style="float:right;">〈有・(無)〉</span></p> <p>(状況) 区画整理等の総合的な農業基盤の整備により、更なる果樹産地の強化に取り組むものであり、果樹地帯の農業生産基盤を効率的かつ一体的に整備するには、本事業の他に適した事業はない。</p>																																													
<p><b>(3) 経済効率性</b> <span style="float:right;">(妥当)・妥当でない</span></p> <p>(理由)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:15%;">総事業費</td> <td style="width:15%;">3,300 百万円</td> <td style="width:10%;">工期</td> <td style="width:15%;">R6~R14</td> <td style="width:10%;">基準年</td> <td style="width:10%;">R5</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>2,768 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="3">3,657 百万円</td> </tr> <tr> <td>  当該事業費</td> <td>2,537 百万円</td> <td>  走行経費節減効果</td> <td colspan="3">1,649 百万円</td> </tr> <tr> <td>  関連事業費等</td> <td>231 百万円</td> <td>  作物生産効果</td> <td colspan="3">857 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>  営農経費節減効果</td> <td colspan="3">531 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>  その他※</td> <td colspan="3">620 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B/C</td> <td>1.3</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> <p>※その他は、品質向上効果、維持管理費節減効果、国産農産物安定供給効果 費用便益比（B/C）は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p>		総事業費	3,300 百万円	工期	R6~R14	基準年	R5	経済効率性	費用	2,768 百万円	便益	3,657 百万円			当該事業費	2,537 百万円	走行経費節減効果	1,649 百万円			関連事業費等	231 百万円	作物生産効果	857 百万円					営農経費節減効果	531 百万円					その他※	620 百万円				B/C	1.3					<p><b>(6) 環境負荷等への配慮</b> <span style="float:right;">(妥当)・妥当でない</span></p> <p>(理由) 峡東地域の扇状地に適応した果樹農業は、世界農業遺産（R4.7）に認定されており、優れた農村景観や自然環境を維持し、未来に継承するために必要な対策を講じる。基盤整備では、土の切盛量を最低限に抑えるなど現状の地形に配慮した計画にする。なお、工事による生態系、景観等への影響があると判断された場合には、回避、代替、低減などを踏まえた対策等を講じる。</p>
	総事業費	3,300 百万円	工期	R6~R14	基準年	R5																																								
経済効率性	費用	2,768 百万円	便益	3,657 百万円																																										
	当該事業費	2,537 百万円	走行経費節減効果	1,649 百万円																																										
	関連事業費等	231 百万円	作物生産効果	857 百万円																																										
			営農経費節減効果	531 百万円																																										
			その他※	620 百万円																																										
	B/C	1.3																																												
<p><b>(4) 事業実施・規模の妥当性</b> <span style="float:right;">(妥当)・妥当でない</span></p> <p>(理由) 地区内の営農条件改善に必要な整備量としている。</p> <p><input type="checkbox"/> <b>同<b>等施設等（計画を含む）の有無</b></b> <span style="float:right;">〈有・(無)〉</span></p> <p>(状況) 新規及び老朽化した既存施設の改良であり、機能を代替する施設はない。</p> <p><input type="checkbox"/> <b>必要整備内容とその根拠</b></p> <p>(状況)</p> <p>区 画 整 理 : 農作業の省力化や農地集積・集約化を図るためのもので、狭小かつ不整形で作業効率が悪く、担い手への集積が進んでいない農地を対象とした。</p> <p>農 道 : 農作物の運搬等に必要な幅員を確保するため、幅員が狭小な農道を対象とした。</p> <p>用 排 水 路 : 用排水能力の向上を図るため、機能に支障をきたしている水路を対象とした。</p>	<p><b>(7) 事業計画の熟度</b> <span style="float:right;">(妥当)・妥当でない</span></p> <p>(理由) 事業の円滑な推進のため、関係市は事業計画にあたり耕作者を対象とした説明会や営農に対するアンケート調査を実施しており、整備を希望し合意された施設を整備対象としている。 また、事業を進めるうえで地域間の連携や調整が重要であることから、地区内の代表者で構成する「八幡東地区県営畑地帯総合整備事業推進協議会」が設立されるなど、地元への理解度は高く、事業を推進する体制も整っている。</p> <p><b>《総合評価》</b> <span style="float:right;">(妥当)・妥当でない</span></p> <p>7項目全て妥当と評価されることから、実施が妥当と判断する。</p>																																													

### 3. 添付資料シート (1)

農地整備事業〔畑地帯総合整備事業〕八幡東地区 一般計画平面図



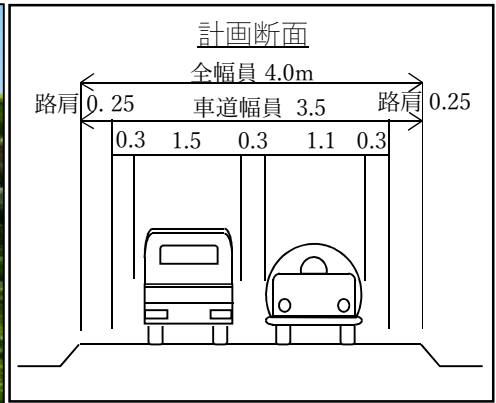
事業概要			
主要工事	区画整理	9 工区	A=18ha
	農道	12 路線	L=3,640m
	用排水路	10 路線	L=1,490m
受益面積	A = 55 ha		
総事業費	約 3.3 億円		

凡例	
国道	
県道	
河川	
農道	
事業範囲	
区画整理①~⑨	
農道①~⑫	
用排水路①~⑩	
受益地	
写真撮影箇所	

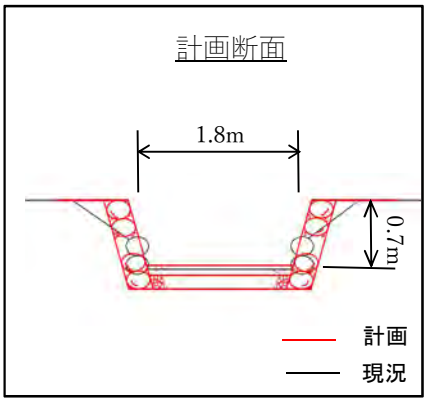
### 3.添付資料シート（2）



1 農道



2 用排水路



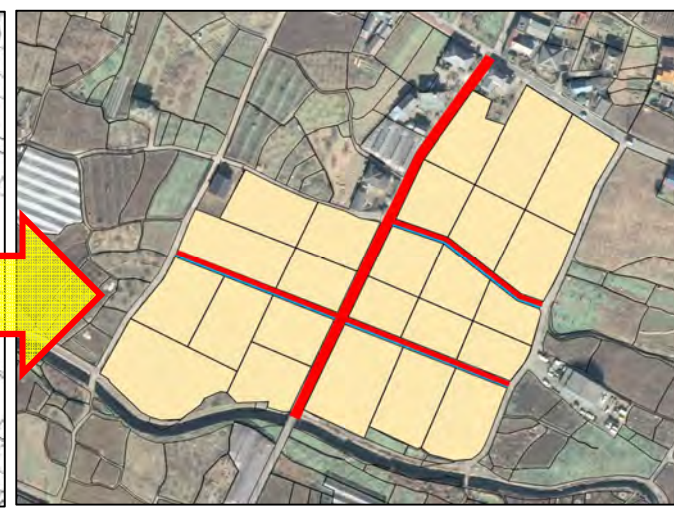
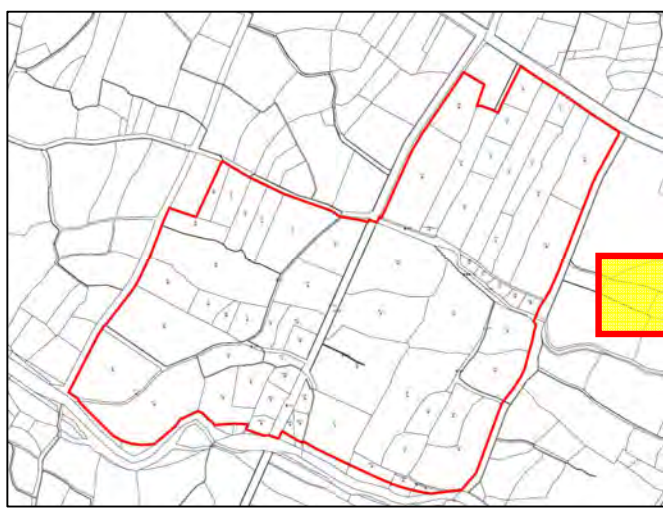
地区内の農道は狭小のため、農作業車両のすれ違いが困難である。また、既設の道路は舗装されているものの老朽化が進んでおり、運搬時には荷傷みが生じている。

地区内の水路は未整備のため、排水不良や漏水による湿害が発生するとともに、維持管理に多大な労力を要している。

3 区画整理

現況（区画整理前）

整備後の区画イメージ



（工区面積） A=3.6ha  
筆数：65筆 平均面積 557㎡/筆

（工区面積） A=3.6ha  
筆数：24筆 平均面積 1,508㎡/筆

区画整理により狭小で不整形な農地の傾斜の緩和や区画の拡大を図ることで農作業の効率化や担い手への農地集積を進める。



『サンシャインレッド』 『シャインマスカット』

地区内では消費者から評価の高いシャインマスカットの生産に加え、基盤整備を契機にサンシャインレッドなど県オリジナル品種への転換を加速化し、果樹の産地として更なる強化に取り組む。